

Sports ●野球大会 ●港区タグラグビーフェスティバル「あきんどカップ」

平成28年度 港区商店街連合会・野球大会の日程が決定！ チーム「SHIBAURA」の二連覇なるか？今年も熱い戦いを期待！

毎年熱い戦いが繰り広げられる港区商店街連合会・野球大会の日程が決定しました。昨年は全10チームが参加し、激戦のトーナメントを勝ち抜いたチーム「SHIBAURA（芝浦商店会）」が優勝しました。

開会式及び注目の初戦は5月8日（日）から始まり、6月5日（日）の三位決定戦及び決勝戦まで、すべて区立麻布球場で行われる予定です。決勝戦以外はすべて7イニング制、決勝戦のみ9イニング制で行われます。

今年も強豪チームがひしめき合う10チームによるトーナメント。好ゲームが期待されます。

No.	開催日	開始	終了	会場
第1日	5月8日(日)	8:00	17:00	区立麻布球場
第2日	5月22日(日)	8:00	17:00	区立麻布球場
第3日	5月29日(日)	8:00	17:00	区立麻布球場
第4日	6月5日(日)	8:00	17:00	区立麻布球場
予備日	8月28日(日)	8:00	17:00	区立麻布球場
予備日	9月4日(日)	8:00	17:00	区立麻布球場



第7回港区タグラグビーフェスティバル開催！ 港区商店街連合会は小学生参加の「あきんどカップ」に協賛！

3月21日（月祝）に秩父宮ラグビー場で「第7回港区タグラグビーフェスティバル」が開催されました。午前中は港区小学生の大会「あきんどカップ」をはじめ、一般小学生の大会やタグラグビー体験会が行われ、午後には大人の大会と中学生以上のタグラグビー体験会が行われました。

港区商店街連合会は「あきんどカップ」に協賛し、参加者全員に特製スポーツタオル、スポーツドリンク等をプレゼント。そして優勝及び準優勝チームに須永会長よりカップを進呈しました。

「商人として子どもたちの力になりたいという思いから協賛を始めました。また私もラグビーをやっていたので、この大会には思い入れがあるんです」と須永会長。

港区商店街連合会は小さな子どもでも楽しめるタグラグビーを今後もサポートしていきます。



好プレー連発！▶



▲特製スポーツタオルをもらって喜ぶ子どもたち

Attention 注目記事

3月 商店会と大学のコラボで「ぎよら焼き」販売



魚らん商店会を拠点にゆるキャラの開発やお祭りへの出店など、自由な発想で地域振興活動を行っている明治学院大学の服部ゼミナール。このたび洋菓子から和菓子まで扱う魚らん商店会のお店「銀扇」の協力のもと、ゆるキャラ「ぎよらニャン」を焼印したどら焼き、その名も「ぎよら焼き」を販売。毎週水曜日～金曜日に「銀扇」で購入することができます。販路拡大のため、置いてくれるお店も募集中とのことです。

◀銀扇の渡邊さん



5/25 (水) 第66回 定時総会のご案内 今年は「第一ホテル東京」にて開催

港区商店街連合会の第66回定時総会は5月25日（水）に新橋の「第一ホテル東京」にて開催されます。各商店会長宛にご案内状を送付致しますので、ご出席をお願い致します。

- 第66回定時総会
- ・開催日：平成28年5月25日（水）
- ・会場：第一ホテル東京（新橋）
- ・時間：総会17時～懇親会18時～



Topix トピックス

スマイル商品券（一般券） 4月1日に発行

平成28年度4月発行のスマイル商品券（一般券）のデザインは下記になります。スマイル商品券は期限付きですので、期限の過ぎた商品券はご使用できません。

また昨年よりスマイル商品券取り扱い店としてタクシー会社（5社）が加入しています。



この街の“ホームドクター” しばしんが豊かな暮らしを応援します

本店営業部 新橋6-23-1 Tm.(3432)3261
新橋支店 西新橋1-14-2 Tm.(3502)3451
三田支店 芝3-43-15 Tm.(3453)1231
高輪支店 高輪2-30-20 Tm.(3441)8201
白金支店 白金5-7-14 Tm.(3447)2441
プラザ天王洲 港南4-6-7 Tm.(5461)7551

充実の54店舗ネットワーク



http://www.shibashin.jp

地域にさわやかな風を さわやか信用金庫

港区区内店舗一覧（平成28年3月31日現在）

- 本店営業部 03-3444-1112
- 東京港支店 03-3451-8251
- 芝浦出張所 03-3454-5181
- 麻布支店 03-3451-3710
- 麻布十番出張所 03-3456-8550
- 日比谷支店 03-3437-3710
- 赤坂支店 03-3585-3710
- 広尾白金支店 03-3444-3710
- 六本木支店 03-3403-3710
- 青山支店 03-3400-3710

http://www.sawayaka-shinkin.co.jp/

Close up ●新年賀詞交歓会 ●港区商店街ワールドカードラリー ●みなとエコショップ

ホテルインターコンチネンタル東京ベイにて 新年賀詞交歓会を開催



1月25日に新年賀詞交歓会及び港区商店街グランプリ表彰式が行われました。今年はホテルインターコンチネンタル東京ベイに会場を移し、美しい夜景を眺めながらの催しとなりました。

港区商店街グランプリ表彰式に続いて行われた新年賀詞交歓会では、港区商店街連合会の須永連雄会長が「港区は地区ごとに個性があり、個性のある商店が揃っている。それらがまとまったものが57の商店会であり、魅力ある区だということをヒシヒシと感じる」と述べられ、武井雅昭港区長からは「今もなお輝き魅力ある港区であるのは、中心となる商店会の皆様の努力が繁栄や活力に結びついている。これからも区は総力を挙げて支援していく」という言葉をいただきました。

産業団体連合会長の坂東和男会長の乾杯の音頭とともに会場のカーテンが開けられると、そこには美しい東京湾の夜景が広がりました。

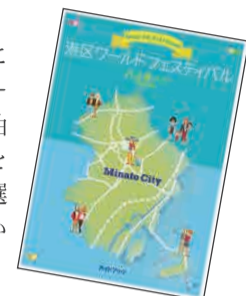
また豪華賞品が当たる三角くじ抽選会もおおいに盛り上がりしました。



商店100店舗が参加した 港区商店街ワールドカードラリー



買い物をする際、港区ワールドフェスティバルパスポートを提示すると、区内にある大使館の情報が掲載されたカードをもらうことができる「港区商店街ワールドカードラリー」に区内の商店100店舗が参加しました。3月4日（金）・5日（土）に増上寺で開催された「港区ワールドカーニバル」の会場には抽選ブースが設けられ、カードを集めた方々が枚数に応じて抽選にする姿が見受けられ、賑わいを見せておりました。



「みなとエコショップ」の5店舗を表彰 FOOT & BEAUTY タカヤマ、ジーンズサンショウ・ブロンクス他

ごみの減量化・リサイクル活動に積極的に取り組む区内の小売店舗を「みなとエコショップ」として認定し、中でも特に顕著な取り組みを実施している店舗を「ごみ減量優良エコショップ」として年1回表彰しています。今年度は「FOOT & BEAUTY タカヤマ

（東麻布商店会）」と「ジーンズサンショウ・ブロンクス（ニュー新橋ビル2階商店会）」の2店舗を含む5店舗が選ばれ、2月10日（水）に港区立エコプラザにて行われた表彰式に出席し武井雅昭区長から表彰されました。

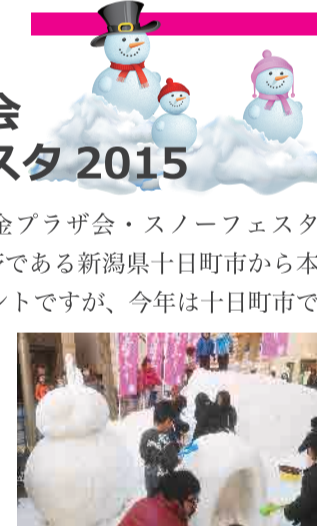
▲ジーンズサンショウ・ブロンクス



Report イベントレポート

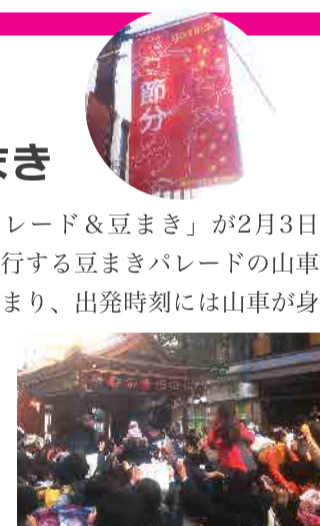
12/25 (金) 12/26 (土) 白金プラザ会 スノーフェスタ2015

昨年12月25日（金）・26日（土）に「白金プラザ会・スノーフェスタ2015」が開催されました。日本有数の豪雪地帯である新潟県十日町市から本物の雪を移送して雪ひろばを作って遊ぶイベントですが、今年は十日町市でもあまり雪が積もらず大苦戦。それでも「白金の子どもたちの笑顔が見たい」と集めてくれた雪に子どもたちも大満足。滑り台を楽しんだり雪だるまを作ったりと、会場にはたくさんの子どもの笑顔が溢れていました。



2/3 (水) 麻布十番商店街 節分パレード&豆まき

麻布十番商店街の伝統行事である「節分パレード&豆まき」が2月3日（水）に行われました。前年の年男を乗せて巡行する豆まきパレードの山車の周囲には、出発時刻が近づくにつれ人々が集まり、出発時刻には山車が身動きできないほどの人だかりができました。「鬼は外！福はうち！」のかけ声とともにパレードが始まると、商店街は多くの人々で溢れ、豆やお菓子を手にすることができた人たちはひととき大きな笑顔になっていました。



Topix トピックス

「ミ〜モふるさと割キャンペーン」は1月末で終了 30%割引+全国送料無料の効果で、当初の予想を上回る多くの反響！



港区商店街連合会が運営するインターネットショッピングモール「港区商連バーチャルモールミ〜モ」において、昨年より展開してきた「ミ〜モふるさと割キャンペーン」が1月末で終了しました。国の補助金を活用することで「ふるさと割」と呼ばれる通常価格より30%の割引販売が可能となる当キャンペーン。港区には全国的に有名な特産品が少ないことから、地方の友好都市の商品も扱いコラボ企画としてスタートしましたが、予想に反して港区内のお客様からのリピート注文が多く、港区内商品の売上が9割を占めるといった嬉しい誤算となりました。あらためて港区の銘品が地元にも長く認知され、愛されているということがわかりました。

また「普段は値引販売されないブランド品が割引購入できて嬉しい」「30%割引+全国送料無料のこの機会に知人や親戚への贈答品として活用した」というキャンペーンへの好意的な声が多く聞かれました。

「ふるさと割」自体の認知度が低い中での企画でしたが、徐々に浸透していき、毎月前月の売上を更新することができ、当初の予想を上回る多くの反響をいただきました。

